

関東部会 2020年度部会研究会

-----9月部会研究会-----

【日時】2020年9月26日(土) 13:00~17:00

【開催方法】Zoomによるオンライン開催

【報告者および報告論題】

フリーセッション 13:00~14:10

※敬称略

コーディネーター：小野晃典(慶応義塾大学)、菅野佐織(駒澤大学)

プログラム委員からの連絡事項(10分)

研究発表(報告20分 質疑10分)

報告(1):「快楽品、抽象的思考および罪悪感」

報告者：石川佳子(一橋大学大学院)

報告(2):「店舗接客スタッフによる来店者への声掛け行動の効果についての実証研究」

報告者：千葉貴宏(関西大学)

テーマセッション 14:20~17:00

「消費者行動」、「マーケティング・サイエンス」合同セッション

※敬称略

◆第一部 14:20~15:40◆

テーマ：消費者行動

コーディネーター：坂下玄哲(慶応義塾大学)、杉谷陽子(上智大学)

プログラム委員からの連絡事項(10分)

研究発表(報告20分 コメント10分 質疑10分)

報告(1):「消費者の媒体選択における影響要因の検討」

報告者：権純鎬(早稲田大学)

コメンテーター：澁谷覚(学習院大学)

報告(2):「非発言者の集積が持つ影響力：SNS上の消費者間情報伝達行動の実証研究」

報告者：松井彩子(一橋大学大学院)

◆第二部 15:50~17:00◆

テーマ：マーケティング・サイエンス

コーディネーター：清水聡（慶應義塾大学）、山本晶（慶應義塾大学）

プログラム委員からの連絡事項（10分）

研究発表（報告20分 質疑10分）

報告(1)：「不確実な状況下での事例とシナリオによる意思決定」

報告者：郷香野子（跡見学園女子大学）

報告(2)：「ご当地キャラの支持構造に関する実証研究」

報告者：野澤智行（法政大学専門職大学院）

-----10月部会研究会(関東・関西部会共同の特別企画)-----

【日時】2020年10月17日（土）13:00~17:00

【開催方法】Zoomによるオンライン開催

【報告者および報告論題】

事務局からの挨拶・連絡 13:30~

研究報告（自由論題） 13:40~

報告：「19世紀西欧での伝統的大学と新興工科大学の学位授与競争：自然哲学が近代科学の基礎領域を事業ドメインにしていく過程」

報告者：入江信一郎（京都工芸繊維大学）

特別企画 15:00~

田村正紀先生（神戸大学名誉教授）講演会

「流通研究の新方法論：過程追跡とQCAは何を狙っているのか（仮）」

-----11月部会研究会-----

【日時】2020年11月14日（土）13:00~16:10

【開催方法】Zoomによるオンライン開催

【報告者および報告論題】

フリーセッション 13:00~14:30

※敬称略

【コーディネーター】安藤和代（千葉商科大学）、柴田典子（横浜市立大学）

【事務局からのご挨拶・ご連絡】（5分）

【研究発表】（報告20分、コメント10分、質疑10分）

報告(1):「製品に対する消費者の知覚リスクと製品の季節性による消費者の価格感度及び受容度変化」

報告者：ソン・ジュヒ（早稲田大学大学院商学研究科）

コメンテーター：白井美由里（慶應義塾大学）

報告(2):「消費者の新製品採用インスピレーション介在モデル試論」

報告者：落原大治（法政大学大学院）

コメンテーター：田嶋規雄（拓殖大学）

【休憩】（10分）

テーマセッション 14:40~16:10

「流通」「理論・歴史」合同セッション

※敬称略

【コーディネーター】東伸一（青山学院大学）、横山斉理（法政大学）、水越康介（東京都立大学）、戸田裕美子（日本大学）

【研究発表】（報告30分、質疑10分）

【事務局からのご挨拶・ご連絡】（5分）

報告(1):「ユニクロの安定成長はいかに実現したか？ 過程追跡法(Process-Tracing Method) を用いた因果メカニズムの考察」

報告者：金雲鎬（日本大学）、東伸一（青山学院大学）、横山斉理（法政大学）

報告(2):「マーケティング研究における歴史的マクロ現象の捉え方の一考察」

報告者：石澤泉（東京都立大学大学院）